SELPHY CP770

COMPACT PHOTO PRINTER

プリントガイド

かんたん
きれい
たのしい！

CDI-J355-020

CDI-J355

わが家にセルフィーがやってきた

かわいくって、役に立つ、家族の強い味方。
セルフィーはあなたの世界をどんどん広げてくれます。

>>> 目 次

スクラップブック制作協力
株式会社 呉竹　アート&クラフト DUO
横浜青葉台店（m&k）

確認する

箱に入っているもの

箱の中には以下のものが入っています。万一、不足のものがございましたら、お手数ですがお買い求めの販売店までご連絡ください。

プリンター本体

バックルのロックをはずす

本体や付属品の収納以外には使用しないでください

バスケット（収納ケース）

電源コード

クリーナー

CD-ROM:
Compact Photo Printer Solution Disk（コンパクト フォト プリンター ソリューション ディスク）

- プリントガイド（本書）
- 保証書

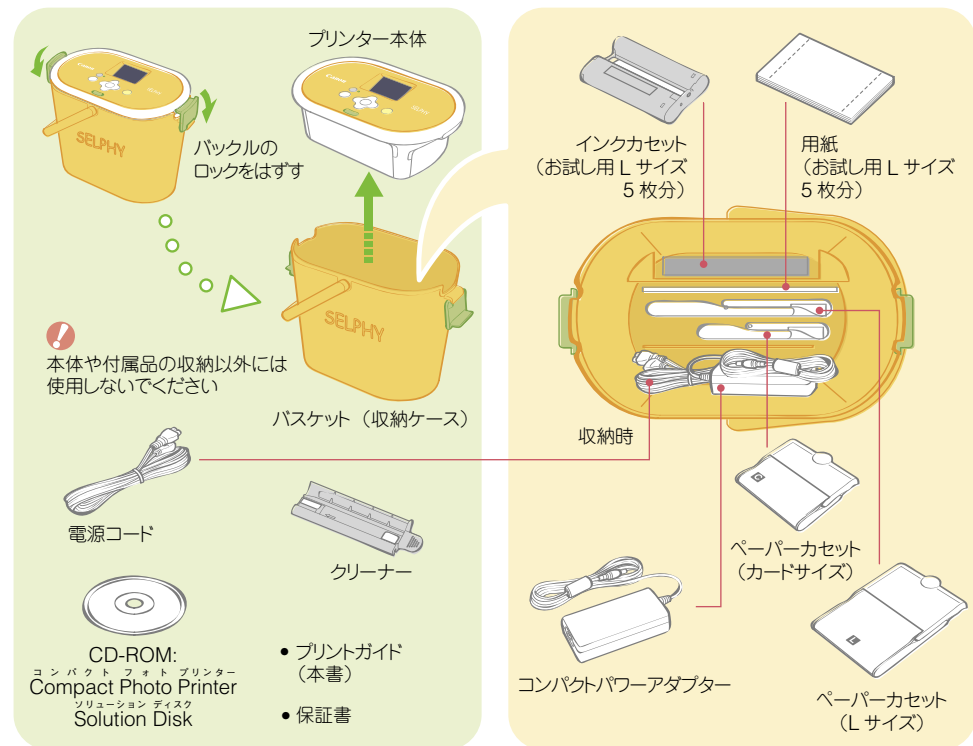
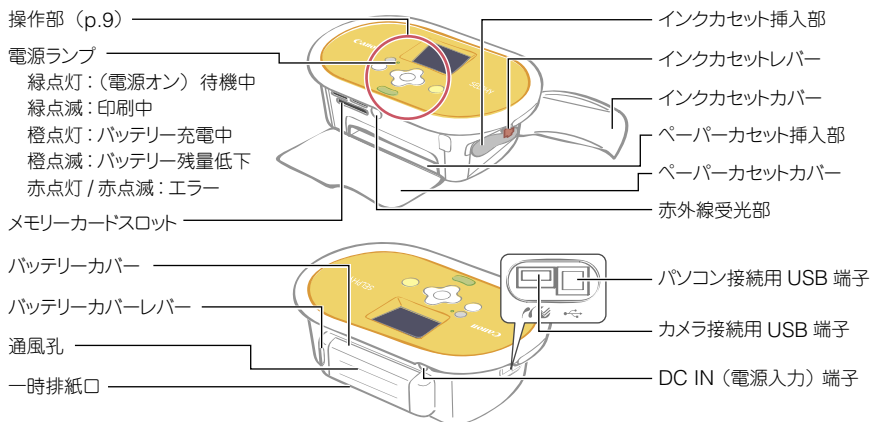
インクカセット（お試し用 L サイズ 5 枚分）

用紙（お試し用 L サイズ 5 枚分）

収納時

ペーパーカセット（カードサイズ）

コンパクトパワーアダプター

ペーパーカセット（L サイズ）

各部の名称

準備する

プリンターにインクカセットとペーパーカセットをセットします。

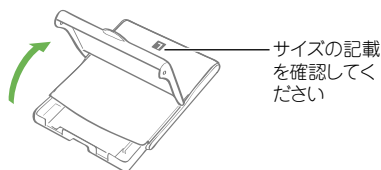
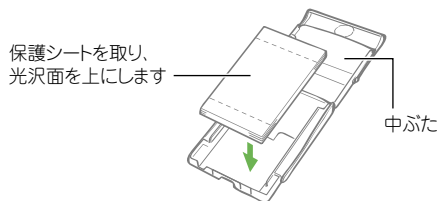
インクカセットを準備する

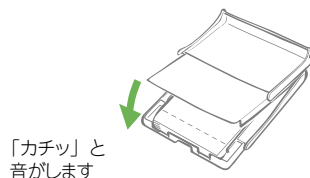
インクシートにたるみがないか確認する

ペーパーカセットを準備する

1 上ぶたを開ける

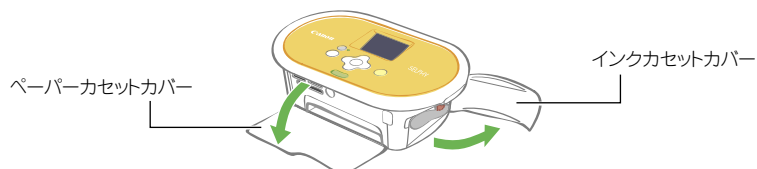
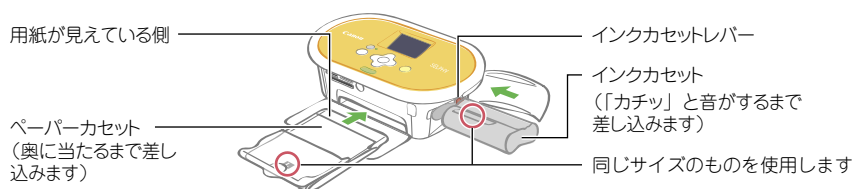
2 中ぶたを開ける

ワイドサイズのペーパーカセット（別売）のときは、中ぶたをずらしてから開けます

3 用紙を入れる

裏面に切手欄のあるポストカードサイズ用紙の場合は、切手欄を中ぶた側にします

4 中ぶたを閉じる

ワイドサイズのペーパーカセットは、中ぶたを閉じたら、「カチッ」と音がするまでずらします

- 用紙は、必ずキヤノン純正の「カラーインク／ペーパーセット」に入っている、セルフィー CP シリーズ専用用紙をお使いください。普通のプリンター用紙や郵便はがき、セルフィー ES シリーズ専用用紙は使えません。
- ペーパーカセットに 19 枚以上（ワイドサイズの場合は 13 枚以上）の用紙を入れないでください。
- 用紙の裏表を間違えないようご注意ください。裏面に印刷すると故障の原因になります。
- 印刷前に用紙をミシン目で折り曲げたり、切り離したりしないでください。
- はがれかけたシール紙や、はがした部分のあるシール紙を使わないでください。
- 印刷前の用紙に文字などを書き込まないでください。誤動作の原因になります。
- 一度印刷した用紙を再使用しないでください。
- 使い切ったインクカセットを再使用しないでください。

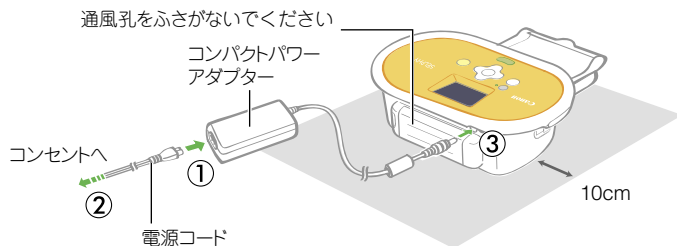
インクカセットとペーパーカセットを取り付ける

1　プリンターの 2 つのカバーを開ける

2　インクカセットとペーパーカセットを差し込む

インクカセットを取り出す場合は、インクカセットレバーを押し上げます。

3　インクカセットカバーを閉じる

プリンターを設置／接続する

安全にお使いいただくために、セルフィーは次のように設置、接続してください。

① コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続する
② 電源プラグをコンセントに差し込む
③ プリンターにコンパクトパワーアダプターを接続する

プリンターの前後は用紙の長さ以上あけてください
（印刷時、用紙が出たり入ったりします）

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
- 電磁波や強い磁気を出している機器からは、1m 以上離してください。

別売のバッテリーパックもご使用いただけます（p.20）。

メモリーカードから印刷する

プリンターにメモリーカードを入れて、メモリーカード内の画像を印刷します。

- プリンターにカメラやパソコンが接続されていないことを確認してください 。
- セルフィーは、DCF 規格の画像データ（Exif Print 準拠）、および、DPOF（Ver. 1.00 準拠）に対応しています。
- 撮影した機器で初期化したメモリーカードをお使いください。パソコンで初期化したメモリーカードの場合、画像を認識できないことがあります。
- パソコンで編集した画像は、正しく表示・印刷できないことがあります。
- 携帯電話で撮影した画像は、撮影時の画像サイズによっては正しく表示・印刷できないことがあります。
- 本機器では動画の再生はできません。

使用できるメモリーカード

スロット	メモリーカード
CF microdrive	CF カード マイクロドライブ
	xD-Picture Card*1
SD/miniSD/MMC+ RS-MMC	SD メモリーカード miniSD カード SDHC メモリーカード miniSDHC カード マルチメディアカード MMCplus カード HC MMCplus カード MMCmobile カード RS-MMC カード *2
	microSD カード microSDHC カード MMCmicro カード
MS MS Duo	メモリースティック メモリースティック PRO メモリースティック デュオ メモリースティック PRO デュオ
	メモリースティック マイクロ

（網掛け）：専用のアダプターが必要です。ご自身でご用意ください。

*1　動作確認済みアダプター：富士フイルム株式会社 DPC-CF

*2　Reduced-Size MultiMediaCard

- アダプターが必要なメモリーカードは、必ずアダプターを使用してカードスロットに差し込んでください。アダプターを使用せずにカードスロットに差し込むと、取り出せなくなる恐れがあります。
- メモリーカードおよびアダプターの使用方法については、メモリーカードの使用説明書をご覧ください。

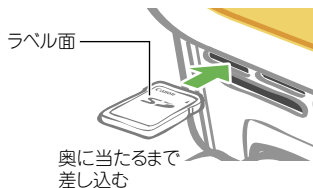
選んだ画像を印刷する（基本の印刷）

画像を選び、印刷する枚数をそれぞれ指定して、まとめて印刷します。なお、日付を入れて印刷したい場合は 12 ページの操作を行ってから印刷します。

- 電源を入れた直後または印刷中に、ペーパーカセットを抜いたり、インクカセットカバーを開けたりしないでください。故障の原因になります。
- 印刷中、用紙が一時的にプリンター本体から出てきますが、用紙受け部（ペーパーカセットの上）に排紙されるまで用紙には手を触れないでください。
- 印刷された用紙を用紙受け部に 10 枚以上ためないようにしてください。
- 印刷中はメモリーカードを取り出さないでください。

1 液晶モニターに画面が表示されるまで ⏻ を長押しし、電源を入れる

2 メモリーカードをカードスロットに 1 枚差し込む

「SD/miniSD/MMC+/RS-MMC」スロットに入れる小さいメモリーカード（miniSD カードなど）は、挿入口下部へ差し込んでください。

3 ◀/▶ で印刷したい画像を選ぶ

◀/▶ の長押し：5 枚先の画像を表示します。

4 ▲/▼ で印刷枚数を指定する

- ▲/▼ の長押し：5 枚ずつ枚数が増減します。
- 1 画像につき 99 枚（または合計 999 枚）まで設定できます。

5 🖨 を押す

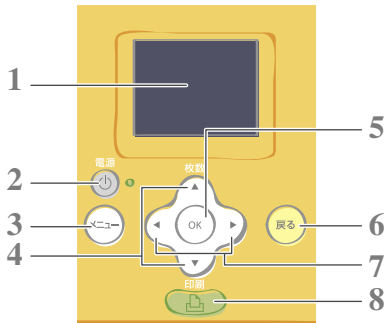
印刷がはじまります。

- ほかの画像もまとめて印刷する場合は、手順 3 と 4 をくり返します。
- 総印刷枚数が「0 枚」の場合に、🖨 を押すと、液晶モニターに表示されている画像が 1 枚印刷されます。
- メモリーカードを取り出すときは、カードスロットから出ている部分をつまんで抜き出します。
- 用紙に文字を書くときは、印刷後に油性ペンでお書きください。

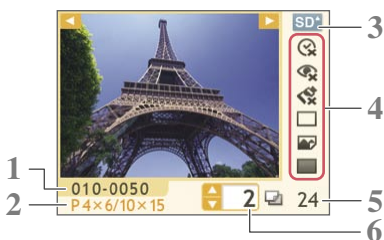
プリンターを使ってできること

セルフィーでは、基本の印刷以外にもいろいろな印刷を楽しむことができます。

操作ボタンと液晶モニターについて

● 操作部

1	液晶モニター	画像や、各種設定画面、エラーメッセージを表示します。
2	⏻	電源を入／切します。
3	◯（メニュー）	メニュー画面を表示します。 • DPOF 印刷（p.13） • すべてを印刷（p.13） • 印刷の設定（p.10） • 本体の設定（p.14）
4	▲ / ▼	印刷枚数の設定、項目の移動をします。
5	**OK**	項目の選択をします。
6	◯（戻る）	1 つ前の画面に戻ったり、印刷を中止したりします。
7	◀ / ▶	表示画像を切り替えたり、設定値を変えたりします。
8	🖶	印刷を始めます。

● 液晶モニターの表示例

［情報表示］（p.14）が［入］のとき

1 画像番号

2 セットされているインクカセットの種類
（この例では「P」: ポストカードサイズ）

3 使用中のメモリーカードスロット

4 印刷の設定（p.10）
日付
赤目補正
マイカラー
レイアウト
自動写真補正
フチ
（設定が無効のときは薄く表示されます）

5 必要な用紙の枚数

6 表示中の画像の印刷枚数

印刷の設定

フチのあり／なしや、印刷レイアウトなど印刷に関する設定を行います。

初期設定値は ✔ で示しています。

日付

撮影した日付を入れます。

入、切（✔）

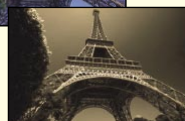
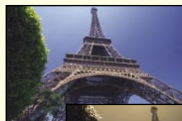
赤目補正

画像の赤目部分を補正します。

入、切（✔）

マイカラー

画像の色味を変更します。

切（✔）、くっきり *1、すっきり *2、ポジフィルム *3、セピア、白黒

レイアウト

1 枚の用紙に印刷する画像数を設定します。印刷枚数を指定した画像（p.8）が、設定したレイアウトで印刷されます。

1 面配置（✔）、
2 面配置、
4 面配置、8 面配置、
インデックス

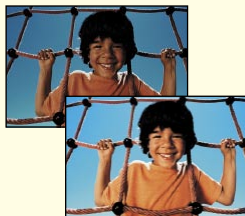
自動写真補正

最適な画質になるように画像を補正します。

入（✔）、切

フチ

フチありまたは、フチなしの写真にします。

フチあり、
フチなし（✔）

*1　コントラストと色の濃さを強調して印刷します。
*2　コントラストと色の濃さを抑えて印刷します。
*3　ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかに印刷します。

1　◯（メニュー）を押す

メニュー画面が表示されます。

［DPOF 印刷］はカメラで DPOF の設定をしたメモリーカードを入れたとき のみ表示されます。

2　▲/▼で［印刷の設定］を選ぶ

3　OK を押す

印刷の設定メニューが表示されます。

4　▲/▼で設定したい項目を選ぶ

5　◀/▶で設定値を変える

複数の項目の設定を変える場合は、手順4と5をくり返します。

6　◯（戻る）を押す

メニュー画面に戻ります。

もう一度 ◯（戻る）を押すと、画像表示に戻ります。

- カメラと接続して印刷する場合は、カメラ側で印刷の設定をします。
- 選択するレイアウトによっては、ほかの設定が無効になる場合があります。液晶モニターの［情報表示］を［入］にして、表示される印刷の設定をご確認ください（p.9）。

赤目補正について

- 画像によっては、赤目が検出されない場合や、思い通りに補正されない場合があります。以下は主な例です。
  - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい場合。
  - 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れていたりする場合。
- 赤目以外の部分を誤って補正する場合があります。赤目現象が起こっている画像を印刷するときのみ［入］に設定してください。

レイアウトについて

- 画像の配置は指定できません。
- ［インデックス］を選択している場合に、［すべてを印刷］（p.13）を選ぶと、メモリーカード内のすべての画像を一覧で印刷できます。

● 日付を入れて印刷する

画像に撮影した日付を入れて印刷します。画像を選ぶ前に、以下の手順を行ってください。

1 ◯（メニュー）を押す

2 ▲/▼ で［印刷の設定］を選び **OK** を押す

3 ▲/▼ で［日付］を選ぶ

4 ◀/▶ で［日付］を［入］にする

5 ◯（戻る）を押す

メニュー画面に戻ります。
もう一度 ◯（戻る）を押すと、画像表示に戻ります。

メモリーカード内の画像が表示されます

- 日付の表示順は［日付スタイル］で変更できます（p.14）。
- 選択するレイアウト（p.10）によっては、日付を入れて印刷できない場合があります。液晶モニターの［情報表示］を［入］にして、表示される印刷の設定をご確認ください（p.9）。

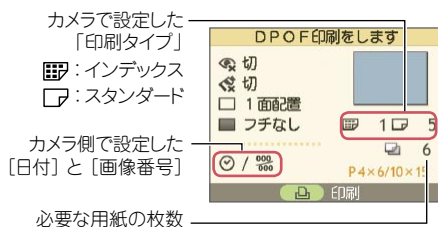
その他の印刷モード

● カメラで指定した画像を印刷する（DPOF 印刷）

印刷する画像の選択や印刷時の設定をあらかじめカメラ側で行い印刷します。設定方法は、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

1 カメラで DPOF 設定をしたメモリーカードをカードスロットに差し込む

DPOF 印刷の確認画面が表示されます。

2 **OK** を押し、設定の内容を確認する

3 を押す

印刷がはじまります。

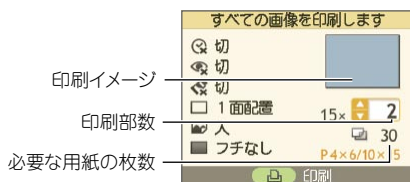
- 日付や画像番号は DPOF 情報の設定に従います（プリンター側では変更できません）。
- 手順 **2** の画面は、〇（メニュー）を押して［DPOF 印刷］を選び、**OK** を押しても表示されます。ただし、カメラで DPOF の設定をしたメモリーカードを入れないと、メニュー画面に［DPOF 印刷］は表示されません。

● すべての画像を印刷する

メモリーカード内に保存されているすべての画像を印刷します。

1 〇（メニュー）を押し、▲ / ▼ で［すべてを印刷］を選ぶ

2 **OK** を押し、設定の内容を確認する

- ▲ / ▼で印刷部数を設定できます。
- 印刷部数は 99 部まで（または用紙の合計が 999 枚になるまで）指定できます。

3 を押す

印刷がはじまります。

プリンターの設定をする

表示する言語など、プリンター本体の設定をします。

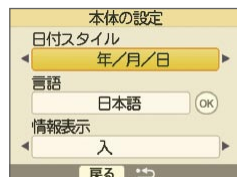
初期設定は ✔ で示しています。

項目	設定内容	選択肢
日付スタイル	日付を入れて印刷するときの日付の表示スタイルを設定します。	年／月／日（✔）、月／日／年、日／月／年
言語	液晶モニターの表示言語を設定します。	下の をご覧ください。
情報表示	印刷設定内容や画像番号などを表示します。	入（✔）、切 *

* 液晶モニターに表示される画像は大きくなりますが、表示に時間がかかります。

1 ◯（メニュー）を押す

2 ▲/▼ で［本体の設定］を選び、**OK** を押す

3 ▲/▼ で設定したい項目を選ぶ

4 ◀/▶ で設定値を変える

複数の項目の設定を変える場合は、手順 3 と 4 をくり返します。

5 ◯（戻る）を押す

メニュー画面に戻ります。

もう一度 ◯（戻る）を押すと、画像表示に戻ります。

［言語］の設定を変える場合

1. 手順3で［言語］を選び、**OK** を押す
2. ▲/▼/◀/▶ で設定したい言語を選ぶ
3. **OK**を押す

［本体の設定］画面に戻ります。

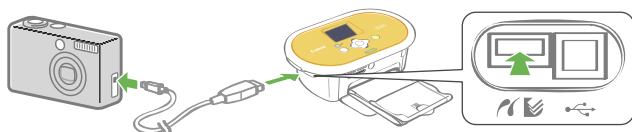
デジカメ・ケータイ・パソコンから印刷する

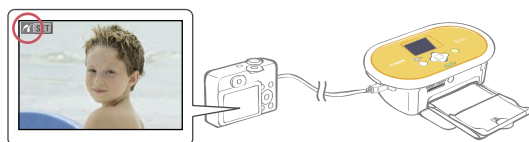
カメラと接続して印刷する

（PictBridge*）や （ダイレクトプリント）の規格に対応したカメラを接続して印刷します。このガイドでは例としてキヤノン製カメラを接続して印刷する手順を紹介します。対応のキヤノン製カメラは、http://canon.jp/pictbridge でご確認ください。

* カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定した統一規格。メーカーや機種を問わず、カメラやビデオカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを経由せずにダイレクトプリントすることを目的としたものです。

- プリンターとカメラを接続する前に、プリンターにメモリーカードが入っていないこと、パソコンが接続されていないことを確認してください。
- カメラの通信設定をご確認のうえ、正しく設定してください。
- 印刷の設定はカメラで行ってください。
- カメラの取り扱いについては、カメラの使用説明書をご覧ください。

1 カメラに付属の USB ケーブルでプリンターとカメラを接続する

2 プリンター、カメラの順に電源を入れ、カメラの画像を再生する

カメラの液晶モニターに または、 が表示されます。

3 カメラで画像を選び、カメラの ボタンを押す

印刷がはじまります。

- ボタンが搭載されていないカメラの場合は、印刷までの手順をカメラで操作してください。詳しくは、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。
- カメラを接続して印刷中は、プリンターの（戻る）で印刷を中止できません。カメラを操作して中止してください。
- （ダイレクトプリント）接続のカメラからワイドサイズ用紙（100 × 200mm）に印刷する場合は、100 × 150mm の範囲に左詰で印刷されます。

携帯電話から（無線で）印刷する

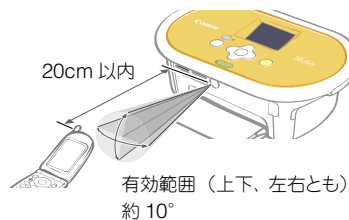
赤外線通信（IrDA、IrSimple）や Bluetooth 対応の携帯電話で、ケーブルを接続しないで印刷します。

- 無線通信で印刷するときは、プリンターにメモリーカードを挿入したり、カメラやパソコンを接続したりしないでください。
- パソコンとプリンターを無線で接続することはできません。
- 転送できる画像のファイルサイズは、最大で約 2MB です（お使いの携帯電話によって異なります）。
- 画像のファイルサイズが大きいと送信時間が長くなります。そのため、印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。
- 動画、メールや電話帳の内容、インターネットやメール添付の URL からダウンロードした画像は印刷できません。
- お使いの携帯電話の機種によっては、メモリーカードに保存した画像を印刷できない場合があります。
- 無線で印刷中は◯（戻る）で印刷を中止できません。
- 印刷される画像の向きはプリンターで自動的に設定されます。
- ご使用になる用紙サイズによっては上下左右が切り取られて印刷されることがあります。
- 動作確認済み携帯電話については、http://canon.jp/cpp でご確認ください。
- 携帯電話の取り扱いについては、携帯電話の使用説明書をご覧ください。

● 赤外線通信（IrDA、IrSimple）

1 プリンターの電源を入れる

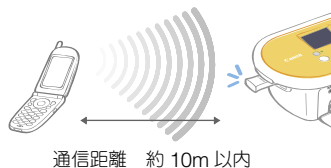
2 携帯電話からプリンターに画像を転送する

通信中は電源ランプが緑色に点滅します。
通信が終わると、印刷がはじまります。

● Bluetooth

1 別売の Bluetooth ユニット（BU-30）を取り付ける

2 プリンターの電源を入れる

3 携帯電話からプリンターに画像を転送する

通信中は Bluetooth ユニットが青色に点滅します。
通信が終わると、印刷がはじまります。

Bluetooth の接続方法や送信方法については、Bluetooth 機器に付属の使用説明書をご覧ください。携帯電話から接続先の機種名を選択する場合は「Canon CP770-XX:XX:XX（x は 1 桁の数字）」を選んでください。

パソコンから印刷する

プリンターをパソコンに接続して印刷します。

- プリンターとパソコンを接続する前に、プリンターにメモリーカードが入っていないこと、カメラが接続されていないことを確認してください。
- 他の USB 機器（USB マウス、USB キーボードを除く）と同時に使用すると、正しく動作しないことがあります。他の USB 機器をパソコンから外して、再度接続してください。
- プリンターをパソコンの USB ポートに接続している状態で、パソコンをスタンバイ状態（またはスリープ状態）にしないでください。プリンターをパソコンの USB ポートに接続している状態で、パソコンをスタンバイ状態にしてしまった場合には、USB ケーブルをパソコンに接続したまま、スタンバイ状態から回復してください。
- パソコンの操作方法については、お使いのパソコンの使用説明書をご覧ください。

● セルフィーをお使いいただけるパソコン

	Windows	Macintosh
OS	Windows Vista Windows XP Service Pack 2 Windows 2000 Service Pack 4	Mac OS X（v10.3 ～ v10.4）
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること	
CPU	Windows Vista: Pentium 1.3GHz 以上 Windows XP/Windows 2000: Pentium 500MHz 以上	PowerPC G3/G4/G5 または Intel プロセッサー
RAM	Windows Vista: 512MB 以上 Windows XP/Windows 2000: 256MB 以上	256MB 以上
インターフェース	USB	
ハードディスク空き容量	520MB 以上 （全ソフトウェアインストール時）	320MB 以上 （全ソフトウェアインストール時）
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット以上 High Color（16bit）以上	1,024 × 768 ドット以上 32,000 色以上

● 付属のソフトウェアの紹介

Compact Photo Printer Solution Disk には、プリンターをパソコンに接続して印刷するときに必要なソフトウェアが収められています。

✤ Ulead Photo Express LE（Windows Vista、Windows XP）

フレームや文字入れ機能を使い、多彩な印刷が簡単にできるソフトウェアです。

✤ ZoomBrowser EX（Windows）/ ImageBrowser（Macintosh）

印刷だけでなく画像の管理や閲覧、編集、書き出しもできる多機能なソフトウェアです。

● プリンタードライバーのインストール

- CD-ROM をセットする前に、プリンターとパソコンを接続しないでください。
- コンピューターの管理者の権限でログオンしてからインストールを行ってください。

このガイドでは Windows XP と Mac OS X（10.4）を使って説明を進めていきます。お使いの OS のバージョンによっては、実際の画面や操作手順と多少異なる場合があります。

Windows

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

2

Macintosh

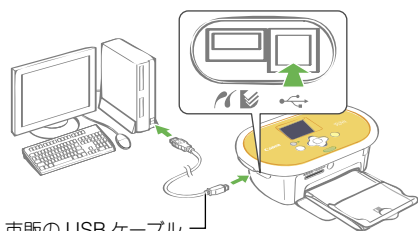
1 付属の CD-ROM をパソコンにセットし、CD-ROM 内の をダブルクリックする

2

お使いのプリンター名を選択してください

Windows

3 使用許諾契約に同意する場合は［はい］をクリックする

4 プリンターとパソコンを接続し、プリンターの電源を入れる

5 ［完了］をクリックする

Macintosh

3 使用許諾契約に同意する場合は［同意する］をクリックする

4 をクリックし［簡易インストール］を選び、［インストール］をクリックする

5 パソコンを再起動する

6 プリンターとパソコンを接続し（左図参照）、プリンターの電源を入れる

7 「プリンタ設定ユーティリティ」の「プリンタリスト」にお使いのプリンターを登録する

● アプリケーションソフトウェアのインストール

Windows

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットする

2

3 ［インストール］をクリックする

Macintosh

1 付属の CD-ROM をパソコンにセットし、CD-ROM 内の をダブルクリックする

2

3 ［おまかせインストール］を選び、［次へ］をクリックする

表示されるメッセージにしたがってインストールを進めます

Windows

4 ［再起動］または［完了］をクリックし、通常のデスクトップ画面が表示されたら CD-ROM を取り出す

Macintosh

4 ［OK］をクリックし、CD-ROM を取り出す

- ソフトウェアの操作については、「ヘルプ」機能をご覧ください。
- ZoomBrowser EX/ImageBrowser の PDF マニュアルは、下記 URL からダウンロードできます。
  http://web.canon.jp/imaging/information-j.html
- Ulead Photo Express LE についてのお問い合わせ先は、下記 URL でご確認ください。
  http://ulead.com/events/canon/selphy

別売品の紹介

カラーインク／ペーパーセットとペーパーカセット

用紙サイズによって、使用するカラーインクとペーパーカセットは異なります。下の表でご確認ください。

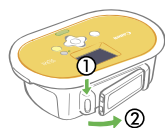
用紙サイズ	カラーインク／ペーパーセット	枚数	ペーパーカセット
ポストカードサイズ	カラーインク／ペーパーセット KP-36IP	36	ペーパーカセット PCP-CP300
	カラーインク／ペーパーセット KP-72IN	72	
L サイズ	カラーインク／ペーパーセット KL-36IP	36	ペーパーカセット PCL-CP300 （セルフィーに同梱）
	カラーインク／ペーパーセット KL-36IP　3PACK	108	
カードサイズ	カラーインク／ペーパーセット KC-36IP	36	ペーパーカセット PCC-CP300 （セルフィーに同梱）
	カラーインク／フルサイズラベルセット KC-18IF （全面シール紙）	18	
	カラーインク／ラベルセット KC-18IL （8 分割シール紙）*	18	
ワイドサイズ	カラーインク／ペーパーセット KW-24IP	24	ペーパーカセット PCW-CP100

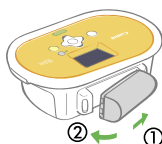
*　レイアウトを［8 面配置］にしてお使いください（p.10）。

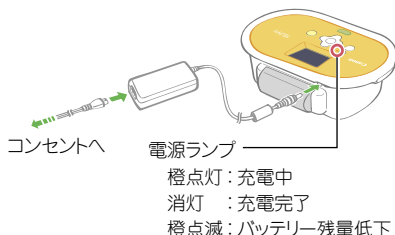
その他の別売品

• Bluetooth ユニット BU-30：Bluetooth 対応の携帯電話から、ワイヤレスで印刷できます。
• バッテリーパック NB-CP2L：電源コードをつなぐことができない場所でも印刷できます。

● バッテリーパックの充電

1　バッテリーカバーを外す

① バッテリーカバーレバーを押し下げながら
② カバーを外す

2　バッテリーを取り付ける

「カチッ」と音がします

3　充電する（約 4 時間。5 ～ 40℃の範囲で充電します）

橙点灯：充電中
消灯　：充電完了
橙点滅：バッテリー残量低下

印刷枚数（フル充電のバッテリーパック使用時）
ポストカード／L サイズ：約 36 枚、カードサイズ：約 72 枚、ワイドサイズ：約 24 枚

バッテリーを使用しないときは、バッテリーをプリンターから取り外し、バッテリーパック端子カバーを取り付けて保管し、プリンターにはバッテリーカバーを取り付けておいてください。

プリンターをお手入れする

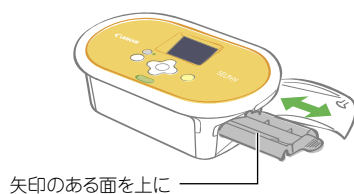
● 内部のお手入れ

付属のクリーナーを使ってプリンター内部のほこりを取り除きます。

1 インクカセットを取り出す（p.6）

2 付属のクリーナーを奥まで差し込み、2～3回抜き差しする

クリーナーの白い部分に触れないでください。クリーニング能力が低下する恐れがあります。

矢印のある面を上に

● 外装のお手入れ

やわらかい乾いた布で拭きます。

絶対にベンジンやシンナーなどの溶剤や中性洗剤は使わないでください。外装ケースが変質したり、塗装がはげることがあります。

● 背面のお手入れ

背面の通風孔のほこりを取ります。
通風孔からほこりが入るとインクシートにほこりがつき、きれいに印刷できません。インクシートにほこりがついてしまった場合は、インクシートに触れないように市販のブロアーブラシなどでほこりを落としてください。

プリンター／印刷した用紙を保管する

● プリンターを保管する

- コンパクトパワーアダプターの電源プラグをコンセントから抜きます（バッテリーをお使いのときは、バッテリーを取り外します）。
- コンパクトパワーアダプター、ペーパーカセットをプリンターから取り外し、プリンターはほこりが入らないよう水平にして保管します。
- プリンターはバスケットに装着し、バックルをロックして保管します。ロックしにくい場合は、プリンターの位置を確認してください。
- 付属品は以下のように保管してください。
  - ペーパーカセット： 残った用紙は入れたまま、上ぶたを閉めて保管します。
  - インクカセット： プリンターに入れたまま保管します。取り出して保管する場合は、ほこりがつかないように袋に入れます。
  - コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック： 使用後、熱い場合は体温程度まで冷ましてから収納します。

プリンターにほこりが入るときれいに印刷できない場合があります。

● 印刷した用紙を保管する

- 次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温（40℃以上）になるところ
  - 湿気やほこりの多いところ
  - 直射日光が当たるところ
- 変色や色落ち、色移りの原因になりますので、印刷面に対し、次のことは避けてください。
  - 粘着テープなどを貼る
  - ビニール製のデスクマットや名刺ケース、プラスチック製消しゴムを触れさせる
  - アルコールなどの揮発性溶剤をつける
  - 他の物に密着させたまま放置する
- アルバムに入れて保管するときは、収納部分がナイロン系、ポリプロピレン、セロハンのものを選んでください。

保存状態や時間経過によって変色することがありますが、この点については補償いたしかねます。

プリンターを持ち運ぶ

- プリンターを持ち運ぶときは、ペーパーカセットとインクカセットを取り出してカバーを閉めてください。
- プリンターや付属品はバスケット（収納ケース）に入れて持ち運んでください。バスケットは振り回さないでください。
- バッテリーを取り付けた状態でプリンターを持ち上げると、プリンターが後方に倒れる恐れがありますのでご注意ください。

困ったときには

プリンターの動作がおかしいときやエラーメッセージが表示されたときの対処法です。

故障かな？と思ったら

下記項目にしたがって点検してください。それでも直らないときは、お買い上げになった販売店または「修理受付センター」にお問い合わせください。

● 本体、電源のトラブル

電源が入りません

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？（p.6）
- コンパクトパワーアダプターのコネクターをプリンターの DC IN 端子に差し込んでいますか？（p.6）
- ⏻ を長めに押してみましたか？（p.8）

バッテリーパックをお使いの場合

- バッテリーは十分に充電していますか？（p.20）
- 「カチッ」と音がするまでバッテリーを押し込みましたか？（p.20）

● 印刷時のトラブル

印刷できません

- プリンターの電源は入っていますか？（p.8）
- インクがなくなっていませんか？
  インクカセットを交換してください。
- 用紙とペーパーカセット、インクカセットの組み合わせは正しいですか？（p.6）
- 複数の機器に接続していませんか？
  カメラやメモリーカード、パソコンを同時に接続しないでください。
- ペーパーカセットに用紙は入っていますか？また、カセットは奥まで入っていますか？
- インクカセットは、奥まで入っていますか？
- インクシートがたるんでいませんか？（p.5）
- 指定の用紙を使っていますか？
- 印刷前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離したりしていませんか？
- プリンターは熱くありませんか？
  プリンターは一定温度以上になると、一時的に印刷が停止しますが故障ではありません。温度が下がるまでしばらくお待ちください。パソコンに接続している場合は、パソコンのディスプレイにメッセージが表示されますが、印刷を中止しないでそのままお待ちください。

メモリーカードから印刷する場合

- メモリーカードは、正しい挿入口にラベル面を上にして奥まで入っていますか？（p.8）
- 画像ファイルは、DCF 規格に準拠していますか？
- 専用のアダプターを使用せずに、メモリーカードをカードスロットに差し込んでいませんか？（p.7）
  メモリーカードによっては専用のアダプターが必要です。

印刷できません（つづき）

カメラから印刷する場合

- プリンターとカメラは正しく接続されていますか？（p.15）
- キヤノン製カメラをお使いの場合、カメラのファームウェアはプリンターに対応していますか？
  弊社ホームページ（ http://pbdb.jp.canon.com/pictbridge_j/ ）で対応機種をご確認のうえ、ファームウェアをダウンロードしてください。
- カメラのバッテリー残量は十分ですか？
  フル充電されたバッテリーまたは新品の電池に取り換えるか、カメラ用のコンパクトパワーアダプターをお使いください。

パソコンから印刷する場合

- 正しい手順でプリンタードライバをインストールしましたか？（p.18）
- プリンターとパソコンを、USB ケーブルで直接接続していますか？
  USB ハブを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- Windows をお使いの場合、プリンターがオフラインになっていませんか？
  プリンターのアイコンを右クリックし、オフラインの設定を解除してください。
- Macintosh をお使いの場合、プリンタリストにプリンターが登録されていますか？（p.18）

メモリーカードを入れても画像が表示されません

- メモリーカードは、正しい挿入口にラベル面を上にして奥まで入っていますか？（p.8）
- 画像データは、DCF 規格に準拠していますか？
- 専用のアダプターを使用せずに、メモリーカードをカードスロットに差し込んでいませんか？（p.7）
  メモリーカードによっては専用のアダプターが必要です。

日付印刷ができません

メモリーカードから印刷する場合

- 日付を入れて印刷する設定を行っていますか？（p.12）
  DPOF 印刷を行う場合、日付の設定は DPOF を設定した機器で行います。

携帯電話から印刷する場合

- 赤外線通信、Bluetooth を使って印刷する場合、日付は印刷できません。

カメラから印刷する場合

- カメラ側で日付の設定を［切］にしていませんか？
  カメラ側で日付の設定を［入］にしてください。なお、［標準設定］に設定した場合は、プリンター側の日付印刷の設定が反映されます。

きれいに印刷できません

- インクシートや用紙は汚れていませんか？
- プリンター内部にほこりなどは付着していませんか？（p.21）
- プリンターに結露は発生していませんか？
  常温でしばらく放置してください。
- 電磁波や強い磁気を出している機器の近くに置いていませんか？
  テレビやゲーム機からの電磁波やスピーカーから出る強い磁気で画像が歪むことがあります。1m 以上離してください。

パソコンの画面の色と印刷された色が違います

- パソコンのディスプレイと印刷では発色の方法が異なります。また、ディスプレイを見ているときの環境（明かりの色や強さ）や、ディスプレイの色の調整によっても違ってきます。

パソコンで印刷中断後、再開したら、すでに印刷された画像も印刷されてしまいました

- Macintosh をお使いですか？
  Macintosh の場合、印刷を中断したあとで再開すると、すでに印刷が終わった画像も印刷されてしまうことがあります。

● 用紙のトラブル

用紙がカセットに入りません

- 用紙のサイズとペーパーカセットのサイズは合っていますか？（p.6）

きちんと紙送りされていません

- 用紙やペーパーカセットは正しくセットされていますか？（p.6）

よく紙詰まりがおきます

- ペーパーカセットに用紙を入れすぎていませんか？
  19 枚以上（ワイドサイズの場合は 13 枚以上）の用紙を入れないでください。
- 用紙受け部（ペーパーカセットの上）に印刷済みの用紙を 10 枚以上ためていませんか？
- 用紙が折れ曲がったり、反ったりしていませんか？
- 一度印刷した用紙を再使用していませんか？

枚数分印刷できません／用紙があまります

- 下記のような操作を行うと、インクシートを消費します。
  - 印刷しないのに電源の入／切を繰り返す。
  - 印刷中に印刷を中止する。
  - インクシートを引っ張る。
  - 複数枚数印刷している途中で用紙がなくなったときに、インクカセットを抜く。
    用紙を補充するときは、インクカセットを抜かずに、ペーパーカセットを抜いて、用紙を補充してください。

エラーメッセージが表示されたら

プリンターに異常が発生すると、液晶モニターにメッセージと対処法が表示されます。ここでは、液晶モニターに表示されない対処法を記載します。また、プリンターとカメラを接続している場合は、カメラの液晶モニターにもエラーメッセージが表示されることがありますので、ご確認ください。

用紙がありません

- ペーパーカセットが奥まで入っているか確認してください。
- 給紙が正しく行われていない場合は、ペーパーカセットを取り出し、プリンターに残った用紙を抜き取ってください。

用紙が詰まりました

- 電源を入れなおしても用紙が出てこない場合は、修理受付センターにご相談ください。

インクカセットが異常です

- インクカセットが取り出せない場合は、修理受付センターにご相談ください。

画像が読み込めません

- 次のような画像は印刷できません。
  - JPEG 以外の画像
  - データが壊れている画像
- ◯ **(戻る)** を押すと元の画面に戻ります。

通信エラー

- 携帯電話から（無線で）印刷する場合、送信できる画像のファイルサイズは、最大で約 2MB です（お使いの携帯電話によって異なります）。
- ◯ **(戻る)** を押すと元の画面に戻ります。

画像がありません

- メモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。
- 画像データは、DCF 規格に準拠していますか？

その他のエラー

- 電源を入れなおしても同じメッセージが表示される場合は、修理受付センターにご相談ください。

必ずお読みください

安全上のご注意

本機器を使用する際は、けがや火災、感電、故障などを防ぐため、後述の注意事項に従って、正しくお使いください。

ここでいう本機器とは、プリンター本体と付属品を指します。

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物に損傷が発生する可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

警告

- お子様の手の届かないところに保管してください。
- 分解や改造をしないでください。

- 付属のバスケット（収納ケース）を収納以外の用途で使用しないでください。
- 本機器を落としたり、外装を破損したりした場合は、そのまま使用しないでください。
- 煙が出ている、焦げ臭いなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げになった販売店または修理受付センターへご連絡ください。

- 内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。
水滴がかかったり潮風にさらされたりしたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

- 内部に金属物や燃えやすいものを落とし込んだり、入れたりしないでください。
万一、これらのものが入ってしまったときは、すぐに機器本体の電源を切ってから、必ずコンパクトパワーアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください（バッテリーを使用している場合はバッテリーを外してください）。

- 雷が鳴り出したら本機器の金属部分や電源プラグに触れないでください。
すぐに使用をやめ、本機器から離れてください。

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

- 電源コードや電源プラグに重いものを載せたり、無理に引っ張ったりして、破損させないでください。

- 本機器専用以外の電源（コンパクトパワーアダプター、バッテリー）は使用しないでください。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

- 付属の CD-ROM を CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。音楽用 CD プレーヤーで使用した場合は、スピーカーなどを破損する恐れがあります。またヘッドフォンなどをご使用になる場合は、大音量により耳に障害を負う恐れがあります。

⚠注意

- プリンター内部には手を入れないでください。

- 以下の場所で使用・保管しないでください。
  - 湿気やほこりの多いところ
  - 振動が激しいところ
  - 火気の近くや直射日光のあたるところ
  - 車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところ

- 電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

- 電源コードは無理に引っ張ったり押し曲げたりしないでください。

- コンパクトパワーアダプターは、本機器（プリンター）以外には使用しないでください。また、指定の電圧以外で使用したり、電源プラグの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

- 使用しないときは、コンパクトパワーアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。長時間接続しておくと、発熱、変形する恐れがあります。

- 印刷中は用紙に触れたり、ペーパーカセットを抜いたりしないでください。

取り扱い上のご注意

メモリーカード、カメラ、携帯電話、パソコンなどの取り扱いについては、それぞれの製品に付属の使用説明書をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

著作権について

あなたがこのプリンターで印刷した画像は、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

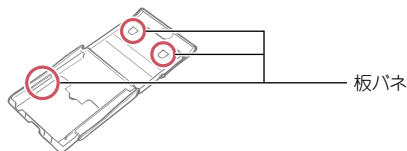
保証について

このプリンターの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で故障･不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）。

プリンターの取り扱いについて

- 強い力や振動を加えないでください。
  紙詰まりや故障の原因になります。
- 印刷しないのに電源の入／切を繰り返さないでください。
  プリンターの初期動作のときにインクが消費され、枚数分の印刷ができなくなることがあります。
- 殺虫剤や揮発性物質がかからないようにしてください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。
  外装ケースが変質することがあります。
- 周囲の温度によっては、プリンターが一定温度以上になると、一時的に印刷が停止しますが、故障ではありません。温度が下がると印刷が再開されますので、少しお待ちください。次の場合は、印刷が一時休止されるため、印刷時間が通常より長くなります。
  - 連続して印刷するとき
  - 周囲の温度が高いとき
  - プリンター背面の通風孔がふさがれるなどして、プリンター内部の温度が高いとき
- ペーパーカセットの板バネを、触らないでください。
  変形すると紙送りがうまくできなくなります。

- 用紙受け部（ペーパーカセットの上）に、用紙以外のものを置かないでください。
- 用紙の印刷面（光沢のある面）には、指を触れないでください。
  なるべく用紙の端（ミシン目の外側）を持ってください。また、硬いもので擦ったり、汗や水で濡れた手で用紙を持ったり、印刷面を指紋や水滴などで汚さないでください。
- 汗や水のついた手で、インクカセットを持たないでください。

＜電磁波による誤作動、破壊を防ぐために＞

- 本機器をモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。また、テレビやAM ラジオの近くで使わないでください。

＜結露を防ぐために＞

- 本機器を寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、本機器をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。万一、結露が発生したときは、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してからお使いください。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

SELPHY CP770

印刷方式	昇華型熱転写方式（オーバーコート付）	
印刷解像度	300 × 300dpi	
階調数	256 階調／色	
インク	専用インクカセット（Y/M/C/ オーバーコート）	
用紙	ポストカードサイズ、L サイズ、カードサイズ（全面シール、8 分割シール含む）、ワイドサイズ	
印刷サイズ	フチなし	フチあり
ポストカードサイズ	100.0 × 148.0 mm	91.3 × 121.7 mm
L サイズ	89.0 × 119.0 mm	78.8 × 105.1 mm
カードサイズ	54.0 × 86.0 mm	49.9 × 66.4 mm
（8 分割シール 1 枚あたり）	22.0 × 17.3 mm	
ワイドサイズ	100.0 × 200.0 mm	91.3 × 121.7 mm
印刷時間 *1	メモリーカードから印刷時	カメラ（PictBridge）接続時
ポストカードサイズ	約 52 秒	約 52 秒
L サイズ	約 43 秒	約 43 秒
カードサイズ	約 25 秒	約 25 秒
ワイドサイズ	約 1 分 5 秒	約 1 分 5 秒
給紙方式	ペーパーカセットからの自動給紙	
排紙方式	ペーパーカセット上面へ自動排紙	
液晶モニター	2.5 型 TFT カラー	
インターフェース		
USB	PictBridge 対応機器、CP ダイレクト対応カメラ接続時：TypeA パソコン接続時：TypeB	
無線	赤外線通信（IrDA、IrSimple）（プリントビーム）、Bluetooth（プリントビーム）*2	
メモリーカード	CF カード、マイクロドライブ、xD-Picture Card*3、SD メモリーカード、miniSD カード、SDHC メモリーカード、miniSDHC カード、マルチメディアカード、MMCplus カード、HC MMCplus カード、MMCmobile カード、RS-MMC カード、microSD カード *3、microSDHC カード *3、MMCmicro カード *3、メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ *3	
動作温度	5 ～ 40℃	
動作湿度	20 ～ 80%	
電源	コンパクトパワーアダプター CA-CP200	
消費電力	60W 以下（待機時は 4W 以下）	
大きさ	本体のみ： 248.0 × 156.4 × 77.3mm バスケット収納時： 276.0 × 174.0 × 205.8mm	
質量（本体のみ）	本体： 約 1060g、バスケット： 約 410g	

*1　イエロー面の印刷開始から排紙完了まで。
*2　別売の Bluetooth ユニット BU-30 が必要です。
*3　専用のアダプターが必要です。

コンパクトパワーアダプター　CA-CP200

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz） 1.5A（100V）～ 0.75A（240V）
定格出力	DC24V、2.2A
使用温度範囲	0 ～ 45 ℃
大きさ	122.0 × 60.0 × 30.5 mm（電源コードを除く）
質量	約 310g

バッテリーパック　NB-CP2L（別売）

形式	リチウムイオン充電池
公称電圧	DC22.2V
公称容量	1200mAh
充放電回数	約 300 回
印刷枚数 *	
ポストカードサイズ	約 36 枚
L サイズ	約 36 枚
カードサイズ	約 72 枚
ワイドサイズ	約 24 枚
使用温度範囲	5 ～ 40 ℃
大きさ	110.0 × 40.7 × 37.5 mm
質量	約 230g

* 測定条件：常温（23℃）、当社標準画像、連続印刷。当社測定条件によるもので、印刷する画像、印刷状況などにより異なります。

純正品以外のアクセサリーの不具合（バッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな故障や発火などの事故による損害については、弊社では責任を一切負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.com
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

SELPHY

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

使用済みインクカートリッジ回収のご案内

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。使い終わったインクカートリッジは、お近くの販売店等に設置されたキヤノンカートリッジ回収ボックスまでお持ち込みくださいますよう、ご協力お願い申し上げます。回収したインクカートリッジは、各部材毎に適切な方法でリサイクル処理いたします。なお、SELPHY で印刷後、インクカートリッジ内に残る写真の潜像は、処理過程において、復元できないように破壊・廃却し、潜像の利用・復元等は一切いたしません。